

(社) 日本原子力学会 標準委員会 リスク専門部会
第 98 回 レベル 1PRA 分科会 議事録

1. 日時 第 98 回 : 2019 年 11 月 15 日 (金) 13:30~17:00

2. 場所 電力中央研究所大手町地区 711 会議室

3. 出席者

(出席委員) 高田主査, 桐本副主査, 橋本幹事, 佐藤 (吉), 牟田, 石田, 岩谷, 二木,
池田, 佐藤 (輝), 黒岩, 塩田, 小森 (13 名)

(常時参加者) 友澤, 藤崎, 佐藤 (遼), 村田候補, 城島候補, 出井候補 (6 名)

(傍聴者) 春田 (MHI NS エンジ), 三橋 (MHI NS エンジ) (2 名)

(敬称略)

4. 配布資料

P4SC-98-1 第 97 回 L1PRA 分科会議事録 (案)

P4SC-98-2 人事について

P4SC-98-3-1 内の事象 L1PRA 標準 統合性能化 基準案

P4SC-98-3-2 内の事象 L1PRA 標準 統合性能化 指針案

P4SC-98-3-3 内の事象 L1PRA 標準 統合性能化 適用事例候補

5. 議事内容

(1) 出席者/資料確認

委員 13 名が出席しており, 分科会成立に必要な定足数を満足している旨が報告された。
また, 配布された資料が確認された。

(2) 第 97 回議事録の確認

資料 P4SC-98-1 を用いて第 97 回分科会の議事録を確認した。コメントがあれば連絡いただくこととし, 特になければこのまま正式版とすることとなった。

(3) 人事について

資料 P4SC-98-2 により, 池田 (敦) 常時参加者 (原電エンジニアリング) の登録解除が報告された。また, 村田候補 (原電エンジニアリング), 城島候補 (原子力規制庁), 出井候補 (原子力規制庁) の常時参加者登録が承認された。

(4) L1PRA 標準統合性能化

資料 P4SC-98-3-1 から 3-3 により，L1PRA 標準統合性能化案について検討した。主な議論は次のとおり。

- ・基準の適用範囲に関して，共通用語の定義による内的事象であることを解説 2 に追記し，人的な妨害行為などは含まないことを明らかにする。
- ・指針の箇条 5 は，基準に対応するよう「品質確保」とする。5.1 は「レベル 1PRA の評価の流れ」として，各箇条の一般事項を移設し各箇条の一般事項は削除する。指針図-1 の評価フローは，プラント情報の調査を各箇条共通とする形で修正する。これらの評価の流れの扱いについては継続検討とする。
- ・プラント情報の調査に関して，情報は「最新 (as is)」のものを対象とする旨で基準・指針の文言を統一する。構成管理に関する品質確保分科会での議論を参考に，基準 5.1 f) 項及び 5.2.6 項の規定振りを検討する。
- ・基準 5.2.1 の規定は，「実施する PRA に応じて，箇条 6 から箇条 13 の評価に必要となるプラントの設計，運転及び保守管理等の各種情報源を調査し，最新のプラント状態を表す情報を収集する。」とする。
- ・基準及び指針 5.2.1 に関して，プラントウォークダウン，インタビュー，専門家判断の禁止に関する ASME/ANS 標準での個別の扱いについて確認し，反映の要否を検討する。
- ・文書化に関する指針の附属書の内容を今回の改定に即して今後に更新する。また，文書化要求に関する ASME/ANS 標準との対応を整理しておく。
- ・指針 7.2.1 において，起回事象の選定に関する ASME/ANS 標準との対応を再整理し，必要な規定があれば追加する。
- ・基準 7.2.1.2 における起回事象の確認で，前兆となる事象の分析を追記する。
- ・指針 7.2.1 c) 項における従属性を有する起回事象で，サポート系故障による起回事象について追記する。
- ・指針 7.2.2 の起回事象のグループ化の禁止において，起回事象従属性を有する事象は項目から削除する。

(5) スケジュール，その他

次回分科会は 12 月 17 日 PM の予定とする。また，次々回は年明け 1 月 15 日 PM を候補とする。

以上